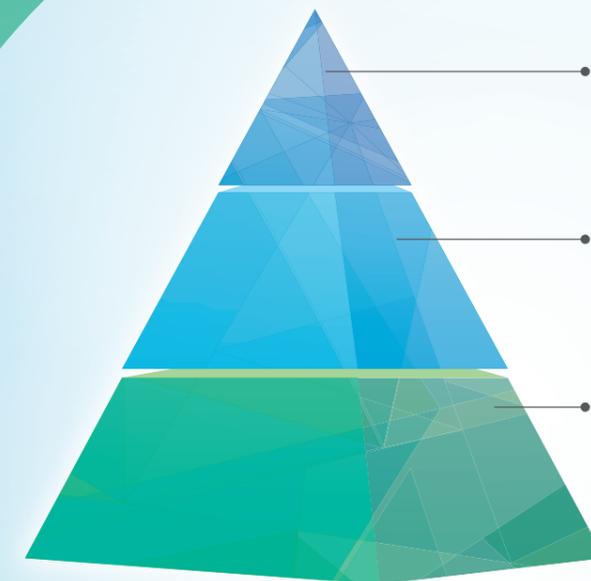


技術と信頼で顧客と共に未来をひらく — オンリーワンビジネス企業へ —

2人の創業者の志である「技術“Technology”と信頼“Trust”」を受け継ぎ
ユニークな企業集団として企業価値向上に努めてまいりました。
既存の紙事業を取り巻く経営環境が変わりゆくなか、
当社グループもまた、持続的な成長に向けて
更に差別化されたオンリーワンを目指して変化していく必要があります。

経営理念



経営理念

ユニークで存在感のある企業集団として、
社会と環境に貢献する

目指すべき企業像

技術と信頼で顧客と共に未来をひらく
オンリーワンビジネス企業

会社方針

ユニークな中堅メーカーとしての強みを活
かして顧客満足度の最大化を推進し、
利益の最大化を目指す

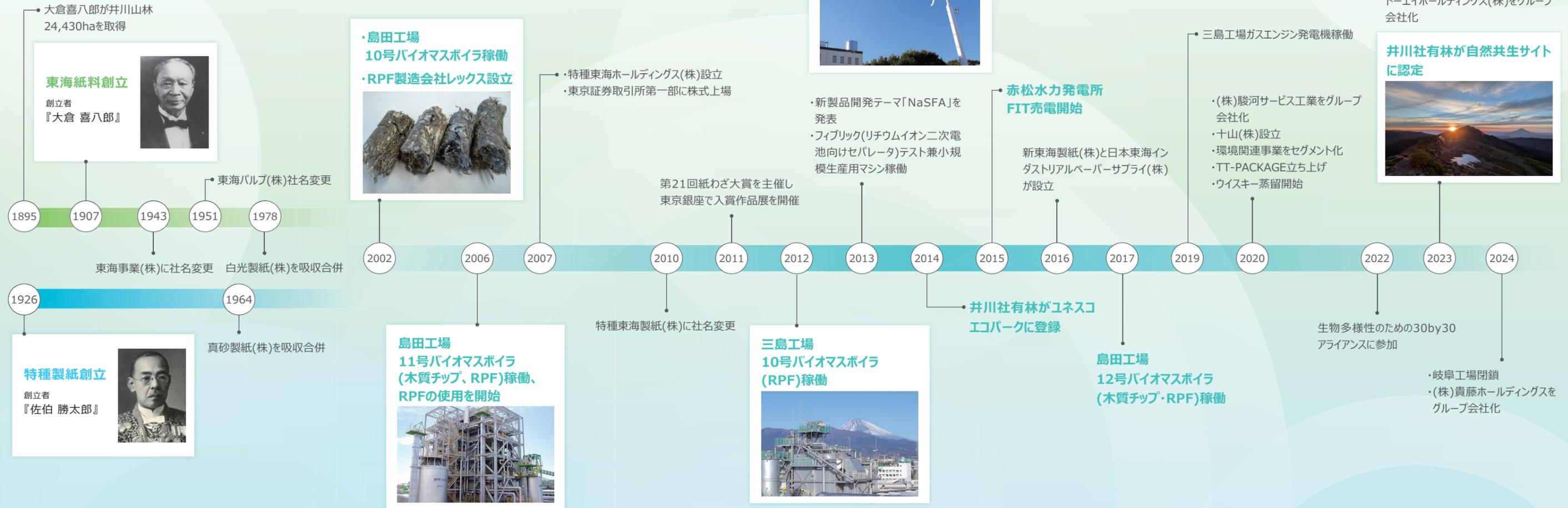
サステナビリティ 基本方針

私たちは、自然との共生に努め、自然の恵みを将来世代に引き継ぎます
私たちは、製品・サービスを通じて社会・文化の発展に貢献します
私たちは、ステークホルダーから信頼される企業を目指します



アイデンティティとあゆみ

意匠性や機能付与に幅広いノウハウを持つ特種製紙、産業・人々の生活を支える東海パルプ、それぞれの強みを相互補完するかたちで経営統合し、2007年「特種東海ホールディングス株式会社」を設立、2010年に現在の事業形態である「特種東海製紙株式会社」が誕生しました。時代ごとの社会課題へ紙を通じた価値提供を行ってきたほか、業界に先駆けてエネルギー転換に着手するなど、これまでの道のりは製紙業を通じた社会・環境への貢献のあゆみでもあります。培ってきた技術と信頼、そしてリサイクルへの知見と南アルプスに広がる豊かな自然資本を活用し、持続可能な社会に向けチャレンジを続けていきます。



CONTENTS

イントロダクション

- 目指すべき企業像
- アイデンティティとあゆみ

価値創造ストーリー

- 01 トップメッセージ
- 05 価値創造モデル
- 07 中長期経営計画
- 09 第6次中期経営計画のポイント
- 11 特集:リサイクルビジネスの可能性

15 事業概要

17 2024年3月期ハイライト

サステナビリティ

- 19 持続可能な社会を実現させるマテリアリティ
- 21 マテリアリティとKPI
- 23 カーボンニュートラル社会の実現に向けた活動
- 26 サプライチェーン・サステナビリティ
- 27 井川社有林の保全と利用
- 29 環境負荷の低減

31 更なる顧客満足度向上に向けた取組み

32 地域・社会への貢献とコミュニケーション活動

33 人的資本に係る取組み

37 安全衛生の取組み

コーポレートガバナンス

- 39 ガバナンス体制
- 40 取締役会の実効性評価
- 41 役員一覧
- 42 取締役のスキルマトリクス

43 任意の委員会の概要及び活動状況

43 役員報酬

財務・非財務データ

- 45 財務・非財務サマリー
- 46 連結貸借対照表
- 47 連結損益計算書
- 48 連結キャッシュ・フロー計算書
- 49 企業情報

編集方針

■対象組織

特種東海製紙グループ(特種東海製紙及び子会社15社)
編集にあたり参考としたガイドライン

- ・GRI(Global Reporting Initiative)「GRIサステナビリティ・レポート・スタンダード」
- ・国際統合報告評議会(IIRC)「国際統合フレームワーク」
- ・経済産業省「価値協創のための統合的開示・対話ガイダンス」

■対象期間

2023年度(2023年4月1日～2024年3月31日)
一部、2024年4月1日以降の内容も含んでいます。

■留意事項

この統合報告書には、当社グループのこれまでの取組状況や今後の予測に関する記述が含まれていますが、これらの記述は、当社グループが現時点で入手可能な情報にもとづき編集を行ったものです。したがって、過去のデータや将来の予測を保証するものではないことをご告知おきください。